

今後のDX推進について

令和6年4月8日
令和6年度第1回DX推進本部会議

引き続き、4つの「**目指すべき姿**」を見据え、本市のDXコンセプト「**さいたまデジタル八策**」に沿った**施策展開**に取り組む。

特に、**市民がデジタルの恩恵・変化を実感できる施策**やそれらの取組等に関する**情報発信の強化**に注力。（八策：②・⑦）

- 行政サービスを受けるために必要な**市への手続等によって発生する市民の負担**（時間、移動及び情報取得のコスト、その他の制約条件）を**可能な限り減らす**。
- **行政サービスをはじめ、地域社会全体のデジタル化を推進**していくことにより、市民一人一人の生活環境を、日々豊かで自由なものにしていく。
- データの活用やデジタルツール導入によって、**効率的かつ的確で、かつ職員満足度も高い持続可能な行政を実現する**。
- 時代の変化や新たな危機にも迅速に対応しうる**柔軟かつ堅牢なデジタル基盤及び体制**を構築する。



今後のDX推進について

令和6年4月8日
令和6年度第1回DX推進本部会議

1 施設整備等と連携したDXの推進（西区修繕、中央区再編、新庁舎整備）

- 効率的にDXを推進するため、中央区役所周辺の**公共施設再編**や**新庁舎整備**、各区役所における**中規模修繕等**の機会を捉え、引き続き各検討体制等と連携し、**インフラ環境を含めた施設におけるデジタル活用の検討**を行う。

2 市民向けアプリの在り方

- 令和6年2月に実現した電子申請のLINE連携等、本市の**LINE公式アカウント**を行政サービスの入口として充実させるとともに、令和6年度開始予定の「デジタル地域通貨・市民アプリ」については、既存アプリ（ごみ分別、防災、水道局、健康マイレージ）との連携を進め、**行政サービスの検索性を向上**させていく。

3 デジタル基盤（都市OS）によるデータ利活用

- これまでの「スマートシティ」の取組によるノウハウを持って、**デジタル基盤（都市OS）の在り方を検討**するとともに、「**デジタル地域通貨**」から得られるデータの接続や活用、民間データ等との連携も含め、庁内での検討を進める。
- 上記のデータ等については、「**シティスタット基盤**」との連携も含めてさらなるデータ利活用の検討を行うとともに、**E B P M**として施策展開に繋げる職員研修等を実施する。

4 デジタル活用に資する事務点検の実施

- 令和5年度に引き続き、各所管課が行う事務や施策において、**継続的かつ自主的な点検を促す**ため、「業務改善の8原則」「業務見直しステップ」「デジタルツール一覧」「相談体制・窓口」などを示した「**事務点検**」を実施し、より一層の改善ができないか、**全庁的な点検を実施**する。
- 外郭団体においても**、上記の事務点検スキームを周知し、自主的な**改善意識を醸成**する。



今後のDX推進について

令和6年4月8日
令和6年度第1回DX推進本部会議

5 事業者提案（通年・実証実験）

- 事業者の意向を踏まえ、**所管課からの業務課題及びそれらに対する事業者からの提案をそれぞれ通年で受け入れる。**
- 実証実験・トライアル等の無償実施やスモールスタートでの検証等、**事業者発の提案を通年で受け入れ、所管課へ繋げる。**

6 DX関連施策一覧の作成（令和6年度予算額：約95.0億円）

- 令和7年度当初予算に向けて、事業者からの提案内容等を踏まえた**議論を早期に行い、DX関連施策の全体を把握する。**
- 国等の補助メニューの状況等を踏まえて**優先的に取り組むべき施策を整理し、適宜、庁内関係部局と連携・情報共有を図る。**

7 職員向けDXフェア等の開催検討

- 包括連携協定企業等と連携し、DX推進に向けた各所管課の気付きの機会となるよう、デジタルツールの周知や他団体での導入事例の紹介等を行う**「職員向け展示会等の開催」を検討し、各職員の積極的かつ主体的な取り組みを醸成する。**

8 ペーパーレス化（紙使用量削減）に向けた取組

- **令和7年度までの原則ペーパーレス化に向けて、今後のデジタル環境の変化等を見据え、印刷状況についての調査・ヒアリング等を実施し、ロードマップを作成する。**
- 令和6年度は、**現状のインフラ環境に伴う紙使用量削減に取り組むとともに、各所管課の紙使用量や効果的なペーパーレス会議の事例等を周知し、ペーパーレス化に係る職員の意識付けを行う。**（令和5年度比で本庁舎：15%削減、区役所：10%削減）



今後のDX推進について

令和6年4月8日
令和6年度第1回DX推進本部会議

9 デジタル人材（職員）の育成等

- さらなるDXを推進するため、**デジタル人材の確保・育成にかかる方向性を整理**する。
- 庁内関係課と連携しながら職員向けの各種研修等を実施し、**職員のデジタルスキル向上に取り組む**。



10 「（仮称）情報統括監の部屋」の開設

- DXに関する取組状況等を内外に周知・PRするため、各種広報媒体・ツールを用いた広報に加え、デジタル月間（10月）などを活用した情報発信を強化するとともに、ホームページ上に**「情報統括監の部屋」を新設し、不定期に角度を変えた市民目線での情報配信**を行う。

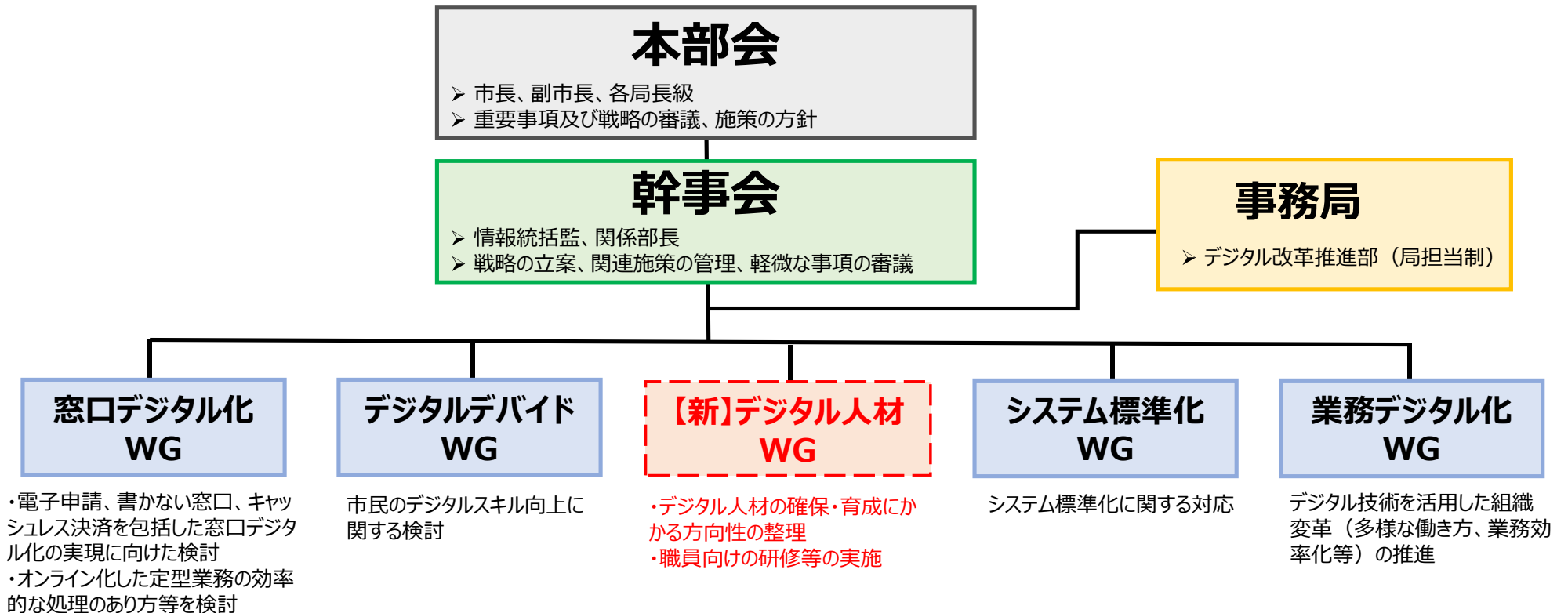
11 アナログ規制の点検・見直し

- 行政サービスや内部事務において、「書面・対面」といったアナログ的な手法を前提とする**「アナログ規制」は、デジタル技術の実装を阻み「DX推進」の妨げ**となっている面があることから、「アナログ規制の点検・見直し」に両輪で取組、DXの推進をさらに**加速**してまいる。
- 国や他団体の状況等を踏まえ、**令和5年度から全庁調査等を実施**し、条例や規則だけでなく各所管課の要綱や要領、マニュアルなども含め**全庁的な精査を進めており**、引き続き、各所管課の実情や運用等を踏まえて進捗管理等を行ってまいる。

さいたま市DX推進本部体制（案）

令和6年4月8日
令和6年度第1回DX推進本部会議

- 引き続き、個別テーマを設定した「ワーキンググループ（WG）」において、庁内関係者と実務的な議論・協議を行いつつ、部長級の幹事会にて大局的な視点と責任を持った議論を実施し、さらなるDXの推進に取り組む。
- **デジタル人材WG**：デジタル人材の確保・育成にかかる方向性を整理し、庁内関係課と連携しながら職員向けの研修等を実施する。



令和6年度のスケジュール感（前半）

令和6年4月8日
令和6年度第1回DX推進本部会議

	令和5年度			令和6年度					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9～10月
主な取組 青色：事務点検 緑色：事業者提案				DX方針確認					重点事項リバイス
	事務点検スキーム検討			デジタル活用に関する事務点検（全庁）					
	通年募集スキーム検討			通年での提案募集／所管課への接続 （課題及び提案内容の確認、予算化に向けた検討）					
	WGでの検討、DX推進アドバイザーの活用、所管課との各種協議・調整								
	各WGでの検討、各種実証実験・効果検証、所管課との各種協議・調整								
									DX一覧作成
デジタル改革推進部	デジタルに関する各種相談対応等（CIO補佐監、DX推進アドバイザー）								
	デジタル改革推進部（局担当）における情報提供・研修・各種伴走支援等								
マイルストーン				DX本部会議		主要事業概算調査	集中審議		DX本部会議